



むらびとかわらばん

第4号

2011.12

日高読もう会

◆発行◆



図書館へ
簡単アクセス！



読もう会のサークルは、それぞれが其々のところで活動していますが、実行委員会において、コラボレーションをしてはどうかという声で実現しました。場所も図書館でという意見もありましたが、自分たちのテンションも上げ、より練習に力が入るようにと、思いきって酒蔵ホールにしました。出し物は、各サークルの特色がよく出たものになり、最後には抽選会があり、楽しい秋の一日になりました。

ぷちとまと

『しちどぎつね』という関西弁の面白い内容のものを巻紙式の紙芝居仕立てにし、登場人物はペープサートで。



朗読ひだか

藤沢周平作『虹の空』登場人物ごと読み手が変わり、映像なしでじっくり聞かせ、ラジオから聞こえる朗読劇のかんじ。

「日高読もう会」の活動紹介もおこない、皆さんに知ってもらう機会をつくりました。

朗読クラブ

『にんじゃもへえ』『笹木越え』日下小学校の児童が、日高にまつわる創作民話を情感豊かに土佐弁に挑みました。

ALTのマ-7さん

絵本を英語で読み聞かせた他、歌で一週間の食べ物が英語で楽しくわかり面白いものでした。



パラソル

「土佐弁かるた」を数人の方に特別出演していただき、すたれてきつつある土佐弁をとっても楽しく読みました。そのなかで、まっこと土佐弁の上手な人が選出されました。



私たちはこの日のために練習を重ねて来ましたが、裏では朗読クラブの土佐弁指導、チラシ作成、音響や照明操作、また快く特別出演をしていただいた方など、たくさんの方々にお世話になり実現できました。ありがとうございました。

読もう会のことを理解してくれる人が少しでも増え、新館建設運動や今回のような催しが継続でき、村立図書館の環境が活性していくことを願っています。このような催しを通じ、村民の皆さんがつながり、まちづくりへと広がっていければ最高だと思います。